

3 道徳の時間（道徳科）と他の教育活動との関連

<場の内容・ねらい>

<生徒の意識>

<指導・援助>

社会科（9月）
「個人の尊重と日本国憲法」
・人間が生まれながらにもつ権利として保障されている基本的人権の意味を考えるとともに、それを保障している法の意義について理解する。
・個人を尊重し、共生社会を実現するために自分たちにできることについて考える。
・社会の形成者として自ら進んで関わろうとする態度を育てる。

合唱祭（10月）
・様々な思いで取り組んでいる仲間がいることを認めつつ、目指す合唱をつくり上げようと、学級全体のことを考えて活動する。

道徳科（11月）
「多くの命を救った外交官 杉原千畝」
内容項目 C（11）
「公正、公平、社会正義」
・誰もがよりよく生きる社会を実現するには、たとえ少数であっても、人として正しいと信じたことを実践しようと努めることが大切であることに気付き、身のまわりの不正や不条理なことに見て見ぬふりをせず、自ら解決に向けて行動しようとする意欲を育む。

総合的な学習の時間（12月）
「ひびきあいの日」
・誰一人として寂しい思いをしない学校にするために、生徒会宣言を視点に自分たちの生活を振り返る。
・よりよい学校生活づくりの実現に向けて一人一人が実行できるよう、生徒会宣言を更新する。

【日常の活動】
○朝・帰りの会
・誰もが安心して生活できる学級にするために、行動している仲間のよさを見付け、認め合う。
・学級としての成果や課題を明らかにし、進むべき方向を共有する。
○委員会活動
・よりよい学校生活の実現に向けた各委員会の取組の中で、よい姿を認め合ったり、できていない仲間に根気よく関わったりするなど積極的に関わることを大切にしている。

○係活動
・よりよい学級をつくるために、分け隔てなく呼びかけたり、言いにくいことも言ったりできることを大切に活動する。

・個人の尊重や基本的人権の考え方について理解できた。他者を尊重することは人として大切な考え方だと思う。
・憲法による人権の保障が、社会的弱者を差別などから救うよりどころになっていることが分かった。
・差別をなくすために、様々な取組がされている。自分も分け隔てなく人と接することができるようになりたい。

・〇〇さんは、いつも仲間に自分から積極的に関わっていてすごいな。自分も努力したい。
・係として正しいことを貫こうと思っても、みんなにどう思われるかを気にして言えないことがある。

・誰でも正義を貫く際には迷いがあることが分かった。身のまわりの不正や不条理なことに対して見て見ぬふりをせず、行動できるようになりたい。

・正しいことを働きかける時、どんな伝え方をしたら、みんなに分かってもらえるだろう。
・今まで、正しいと思っても言いにくいことは言わずに済ませてきたことがあった。言いにくいことも言えるように頑張りたい。

・基本的人権や個人の尊重について、日常の具体的な例を取り上げ、日本国憲法の基本的な考え方を理解できるようにする。
・差別問題は、過去の事例や特別な問題ではなく、自分たちの身のまわりにも起こり得る問題であることを捉えることができるようにする。

・差別やいじめ等がないか、生徒の人間関係に留意する。
・仲間を大切にすることは、悪いことや間違っていることをした時に、積極的に関わることであることを共有できるようにする。
・正しいことが正しいと言える学級経営を目指す。冷やかしかからかいを放っておかない。

・正義を貫く際には、誰もが迷ったり葛藤したりすることがあることを共有し、「人間理解」「他者理解」を深められるようにする。

・生活記録等から行為を支えている生徒の思いを捉え、必要に応じて紹介する。
・人として正しいと思うことについて考え行動していることを捉え、価値付ける。